

73才遊行期をまえにして

一昨年はローマ人の物語に挑戦しその次はダンテの神曲、今回は荷風に的を絞ってはいますが、老の気紛れか身のまわりは妙に乱雑に、集中力を欠き果して遊行期へと乗り換えができるかどうか心許ない限りです。こうした今にも萎えそうな気持ちを引き立てるかのように大学卒業以来一別も無かった学友から森鷗外生誕 150 年に因んだ彼の力作“小説 森鷗外”が贈られてきました。これこそまさに林往期から遊行期への準備が整った学友の姿だと羨ましくもあり身の引き締まる思いのところに、はまゆう会の皆様より私の満 73 才の誕生日を祝って身に余る立派な胡蝶蘭を賜りました。果して皆様方のお心遣いに値する働きができているのだろうか、ややもすると流れに逆らっているのではと反省しているところですが、ともあれ光陰矢のごとしに戸惑いつつもお心遣いに深く感謝いたしております。

そろそろ建築業者の選定が迫り、各部門の構想もまとまりつつあることと推察されます。今回の統合事業は 13 年前の相生プロジェクト時の不透明さに比べれば強力な顧客の後押しと、豊富とまではいかないにしても適度に揃った人材、健全に育ちつつある企業文化とオーナーシップの萌しとで、何等不安材料はありません。私自身は逸る心を抑えつつ成長していくはまゆう会のプロセスの一端を愉しむことにしています。“ナラヌモノハ ナリマセヌ” から“ナルモノハ ナル” への舵取りに専心いたします。まず足元をしっかりと踏ん張り頑張りましょう。

感謝

平成 25 年 1 月 19 日

理事長 市丸 喜一郎